

くらしに役立つ新聞
しんぶん「赤旗」
日刊—— 3,497円
日曜版—— 823円

新宮田

日本共産党
上伊那地区委員会
電話 72-2465
宮田村委員会

減り続ける村の建築確認申請

平成二五年度はわずか四三件

工場は新築、増築ともに〇件

平成二五年度に村が受け付けた建築確認申請件数は四三件で、前年より二件減になりました。

これは前年の大幅減に続く減少で、過去最悪とも言える状況が続いています。特に当年度は、工場の新築・増築での申請は〇件、住宅新築も減になっており、アベノミクスで景気が悪くなっている状況が表われています。一〇年ほど前までは、百数十件の申請が続いていました。

このことは、厚生労働省の二〇一四年版「労働経済白書」でも「相対的に現金給与額の低いパートタイム労働者の比率の上昇が一貫して現金給与総額の減少要因となっている」と認めています。これでは景気が良くなることはありません。国民の購買意欲が高まる給与水準、雇用の安定、年金な

められます。

村への建築確認申請件数

年	前
◎住宅	新築 一九件（二六件） 増築 一〇件（五件）
◎工場	新築 〇件（〇件） 増築 〇件（五件）
◎公共施設新築	二件（〇件）
◎物置・倉庫	新築 七件（二件） 増築 〇件（二件）

赤旗信州秋まつりに三千人

笠井あきら衆院議員が記念講演

井上さとし参院議員あいさつ

十月十二日、松本市のやまびこドームで開かれた「第三七回赤旗信州秋まつり」は、フリーマーケット、青年のひろば、子どもの広場など多様な企画で開催され三千人が参加し盛大に開かれました。

命と暮らしを守る自治体を」と、小林伸陽県議等を紹介、熱気に包まれました。

来春に迫ったいっせい地方選挙に向け「県議選で過去最高の八議席以上二けたに挑戦、市町村議選挙全員当選で、安倍政権の暴走ストップ、

記念講演した笠井あきら衆院議員は、安倍政権の「亡国政治」をやめさせるとき、「長野県から政治を変えるチャンス」と、国政でも野党外交でも存在感を増す日本共産党を報告、この党を強く、大きくと訴えかけました。

スポーツ等・合宿受入れ

上田市が「ダントツ」の60万4千人（ラグビー・アメフト、サッカーなど）
上伊那では、伊那市が1万5千人）

長野県観光地の宿泊を支える重要なのが、夏の学生などのスポーツ強化合宿です。

ラグビー、アメリカンフットボールで38万人、サッカー、フットサルで13万人、スキー、スノーボードで6万5千人、陸上で6万3千人、テニスで6万人の順序です。

菅平を抱える上田市が一番多く受け入れています。

上伊那では、野球・ソフトボール2611人、バスケットボール2410人、陸上1879人、バドミントン1467人、その他室内競技1352人です。（いずれも延べ宿泊数）